

平成31年1月28日(月)

昭和50年度

昭和50年度の職員録というものを手にし、当時の磐城高校を調べることがあった。

いわき市内の学校とともに、平成30年度と比較してここにあげてみよう。

昭和50年度

磐城高等学校 職員数80
普通学級30 生徒数1,406

磐城女子高等学校 職員数78
普通学級30 生徒数1,386

平工業高等学校 職員数90
普通学級24 生徒数984

平工業高等学校定時制 職員数13
普通学級4 生徒数37

平商業高等学校 職員数70
普通学級27 生徒数1,250

内郷高等学校 職員数72
普通学級30 生徒数1,367

好間高等学校 職員数32
普通学級12 生徒数549

湯本高等学校 職員数80
普通学級29 生徒数1,350

小名浜高等学校 職員数57
普通学級21 生徒数946

小名浜高等学校定時制 職員数5
普通学級3 生徒数42

小名浜水産高等学校 職員数81
普通学級18 生徒数495

勿来高等学校 職員数53
普通学級18 生徒数792

磐城農業高等学校 職員数60
普通学級16 生徒数604

平成30年度

磐城高等学校 職員数72
普通学級23 生徒数914

磐城桜が丘高等学校 職員数70
普通学級21 生徒数828

平工業高等学校 職員数94
普通学級21 生徒数753

平商業高等学校 職員数63
普通学級15 生徒数592

いわき総合高等学校 職員数89
普通学級16 生徒数633

好間高等学校 職員数31
普通学級6 生徒数204

湯本高等学校 職員数64
普通学級19 生徒数746

小名浜高等学校 職員数35
普通学級6 生徒数203

いわき海星高等学校 職員数78
普通学級18 生徒数437

勿来高等学校 職員数33
普通学級6 生徒数148

磐城農業高等学校 職員数60
普通学級12 生徒数451

勿来工業高等学校 職員数 89
普通学級 27 生徒数 1,069

勿来工業高等学校 職員数 77
普通学級 17 生徒数 637

遠野高等学校 職員数 26
普通学級 9 生徒数 403

遠野高等学校 職員数 33
普通学級 6 生徒数 134

四倉高等学校 職員数 56
普通学級 21 生徒数 943

四倉高等学校 職員数 37
普通学級 6 生徒数 183

いわき中央高等学校 職員数 29
普通学級 13 生徒数 281

いわき光洋高等学校 職員数 56
普通学級 15 生徒数 598

いわき翠の杜高等学校 職員数 44
普通学級 11 生徒数 188

何と、昭和50年度、いわき市内の県立高等学校生徒は、332学級13,904人在籍したのに対して、平成30年度は、218学級、7,649人であることが判明した。

この43年間に、6,255人の減少。ナント！55パーセントしかいなくなってしまう。つまり、45パーセントの減少である。約半数がないという現実を目の当たりにして、さらに今の小学1年生は、いわき市内で、2,542名であることから、その年代の約7割5分がいわき市内の県立高等学校に進学するので、1学年が1,900人であり、3学年で5,700人であり、あと10年後には、いまよりいわき市内の県立高校生は、約2,000人減少する。この現実は、どのように打開すべきか。まさしく大きな地域課題である。